



VPR23-020

2023年3月17日(金)

2023年3月15日

「ID. 2all」¹コンセプトを世界初公開:フォルクスワーゲンから2万5,000ユーロ以下の新しい電気自動車(日本語訳)

- フォルクスワーゲンの新しいデザイン戦略:
「ID. 2all」は、フォルクスワーゲンのアイコンモデルのDNAを新たに解釈したクルマ
- コンパクトな「ID. 2all」は単なるコンセプトカーを超える存在:
2025年に量産モデルが発売される予定
- ベース価格が2万5,000ユーロ以下の電動フォルクスワーゲン:
「ID. 2all」は、Travel AssistやIQ.LIGHTといったハイテク機能を搭載して発売
- 最大450kmの航続距離:
「ID. 2all」は、年間を通して毎日使える電気自動車
- 長いホイールベースと非常に短いオーバーハング:
「ID. 2all」は、ゴルフと同じくらい広く、ポロと同じくらい手頃な価格
- モジュラーエレクトリックドライブ(MEB)プラットフォームは非常に高い柔軟性が特徴:
「ID. 2all」の量産モデルは、新しいMEB Entryプラットフォームがベース
- 前輪駆動を採用した最初のID.モデル:
新しいパッケージングにより、490~1,330ℓの広い積載容量を実現
- フォルクスワーゲンは電動化攻勢を加速:
2026年までに10車種の新しい電気自動車を発売

Media contact

Volkswagen Communications
Product Communications
Martin Hube
Spokesperson Passat / Arteon /
Touareg / PHEV
Tel.: +49 53 61 94 98 74
martin.hube@volkswagen.de

Product Communications
Benedikt Griffig
Head of Products and Technology
Tel.: +49 5361 9977 164
benedikt.griffig@volkswagen.de



More at
volkswagen-newsroom.com

ウォルフスブルグーフォルクスワーゲンブランドは、eモビリティの時代においてもコンパクトカーセグメントにおけるサクセスストーリーを継続しています。「ID. 2all」コンセプトでは、2万5,000ユーロ以下で購入できるフォルクスワーゲンの電気自動車の姿を垣間見ることができます。基本スペック:前輪駆動、最大450kmの航続距離、Travel Assist、IQ.LIGHT、電気自動車用ルートプランナーをはじめとする革新的なテクノロジーと機能、そしてフォルクスワーゲンの新しいデザイン言語。MEB Entryプラットフォームをベースとした量産モデルは、フォルクスワーゲンが2026年までに発売を予定している10車種の新しい電気自動車のうちの1台。

フォルクスワーゲン乗用車部門最高経営責任者(CEO)のトーマス・シェーファーは、次のように述べています。「私たちは、フォルクスワーゲンを真の“Love Brand”(愛されるブランド)にするという明確な目標を持って、会社を迅速かつ根本的に変革しています。ID. 2allは、私たちのブランドが目指すべき姿を示しています。つまり、私たちはお客様に近い存在となり、最高のテクノロジーと素晴らしいデザインを備えたブランドになります。私たちは、eモビリティを民主化するために、変革を迅速に実行しています。」

フォルクスワーゲンは、2025年にヨーロッパ市場向けの「ID. 2all」の量産モデルを発表する予定です。その目標は、2万5,000ユーロ以下のベース価格を実現することです。

フォルクスワーゲンブランドセールス、マーケティング、アフターセールス担当取締役のイメルダ・ラペーは、次のように述べています。「私たちは、フォルクスワーゲンの典型的な長所を新しいモビリティの世界に移植しています。それらは、最高の品質とクラフトマンシップ、

ACCELERATE
DIGITAL: ENERGIZED



Media Information

真の付加価値を備えた優れたソフトウェアとデジタルサービスです。その焦点は、常にお客様のニーズと要件に当てられています。」

「ID. 2all」の開発は、最新世代のモジュラー エレクトリック ドライブ (MEB) プラットフォームをベースに行われました。フォルクスワーゲン ブランド技術開発担当取締役のカイ グリュニッツは、次のように述べています。「ID. 2all は、前輪駆動を採用する最初の MEB 車になります。私たちは、モジュラー エレクトリック ドライブ (MEB) プラットフォームが提供する優れた柔軟性を活用しており、MEB Entry プラットフォームをベースにすることにより、テクノロジーと日常的な使いやすさの面で、新たな基準を設定します。」

強化された MEB Entry プラットフォームにより、「ID. 2all」には非常に効率的な駆動システム、バッテリー、充電テクノロジーが採用されています。このモデルは、166kW/226PS を発生するパワフルな電気モーターを搭載し、WLTP モードにおける航続距離は最大 450km に達します。

フォルクスワーゲンはまた、デザインにも力を入れています。フォルクスワーゲン乗用車部門デザイン責任者のアンドレアス ミントは、次のように述べています。「ID. 2all では、フォルクスワーゲンの新しいデザイン言語を垣間見ることができます。このデザインは、Stability (安定感)、Likeability (好感度)、Excitement (感動) の 3 つの要素を柱としています。」

エクステリアデザイン: 親しみやすいフロントフェイス、非常にダイナミックで新しい C ピラー
この新しいデザイン言語の 1 つの要素は、初代ゴルフでお馴染みの C ピラーデザインです。「ID. 2all」は、この象徴的なデザインを新たに解釈した最初のフォルクスワーゲンです。このコンセプトにおける、その他のデザインの特徴としては、ホイール上に構築されたクリアで力強いボディシェイプ、親しみやすいフロントフェイス、ダイナミクスと時代を超越したエレガンスの程よいバランスなどが挙げられます。

インテリアデザイン: 広々として高品質な外観、直感的な操作系

インテリアもすっきりとしたデザインを採用し、高品質な外観、慣れ親しんでいる従来型のボリュームスイッチを備え、直感的に操作できるインフォテインメントシステム、独立した空調コントロール操作パネルが特徴です。その積載容量は、1 クラス上のモデルさえ上回る 490~1,330ℓ です。

加速する電動化攻勢: 2026 年までに 10 車種の新しい電気自動車を発売

「ID. 2all」の量産モデルは、フォルクスワーゲンが 2026 年までに発売する予定の 10 車種の新しい電気自動車のうちの 1 台です。今年だけでも、新型「ID.3」、ロングホイールベース バージョンの「ID. Buzz」、サルーンモデルの「ID.7」が発売されます。続いて、2026 年にコンパクトな電動 SUV が登場する予定です。フォルクスワーゲンは、さらに 2 万ユーロ以下の価格の電気自動車の開発にも取り組んでいます。これにより、フォルクスワーゲンは競合他社と比較して最も幅広い電気自動車のラインナップを揃え、ヨーロッパにおける電気自動車のシェアを 80% にすることも目指しています。フォルクスワーゲン乗用車部門の従来目標は 70% でした。



Media Information

「ID. 2ALL」のデザイン

デザイン責任者、アンドレアス ミント:

「私たちは、アイコンモデルの DNA を未来へと移植しています。」

「ID. 2all」コンセプトカーは、2023 年 2 月 1 日にフォルクスワーゲン デザインの新しい責任者に就任したアンドレアス ミントによってデザインされました。彼は、生粋のフォルクスワーゲン・ガイであり、彼の父親も以前にウォルフスブルグでデザイナーとして働いていました。アンドレアス ミントは、デザインを学んだ後、1996 年にフォルクスワーゲンに入社しました。その後、初代「Tiguan」や 7 代目「Golf」などのベストセラーモデルを生み出しました。2014 年には、インゴルシュタットを本拠地とするアウディにエクステリアデザインの責任者として移籍しました。2021 年には、次のステップとして、イギリスのクーレを本拠地とするベントレーのデザイン ディレクターに就任しました。しかし、彼は常にフォルクスワーゲンとの緊密な関係を維持しており、ビートルの誇り高いオーナーであり続けています。アンドレアス ミントは、フォルクスワーゲンのデザイン責任者として手掛けた最初のプロジェクトについて、次のように述べています。「私たちは、アイコンモデルの DNA を未来へと移植しています。従って、ID. 2all はビートル、ゴルフ、ポロへのオマージュでもあります。」

フォルクスワーゲン デザインの DNA – 新しい戦略

アンドレアス ミントは、フォルクスワーゲンの新しいデザイン戦略を策定しました。これは、ブランドの DNA が将来も明確に認識できるようにするためのものです。アンドレアス ミント:「私は、Stability(安定感)、Likeability(好感度)、Excitement(感動)の3つの主要な要素に焦点を当てています。」

「フォルクスワーゲンのデザインにとって最も重要な側面は、『安定感』です」とアンドレアス ミントは言います。これには、安定した価値、安定したフォルム、信頼性、認知度が含まれます。「ブランドの 2 番目のコア要素は『好感度』です」と、ミントは説明しています。それは、「Beetle」、「Volkswagen bus」、新型「Beetle」、「ID. Buzz」に明確に表れています。「安定感と好感度- この2つの価値をあらゆる点で達成する必要があります。」しかし、フォルクスワーゲンの成功にとって、それだけでは十分ではありません。「私たちは、お客様を『感動』させたいのです。」例えば、優れたダイナミクス、操作性の向上、または「ID. Buzz」または「Golf」に代表される、「形態は機能に従う」という考え方です。フォルクスワーゲンを魅力的なクルマにしているのは、テクノロジー、フォルム、コンセプトです。そして、フォルクスワーゲンならではのデザイン、フォルクスワーゲンならではのフィーリングの典型的な特徴が、Stability(安定感)、Likeability(好感度)、Excitement(感動)なのです。ミントは、これら 3 つの価値のそれぞれに、3 つのデザイン要素を割り当てました。それらはすべて、「ID. 2all」に反映されています。

「ID. 2all」のエクステリア デザイン – 3 つのブランドバリュー、9 つのデザイン要素

Stability(安定感): 安定感の代表的なデザインは、初代ゴルフの C ピラーに見て取ることができます。このピラーは、進行方向に向けて引きしぼられた弓の弦を見る者に思い起こさせます。デザイン責任者のミントは、コンパクトなフォルクスワーゲン モデルの特徴として、この要素を新たに解釈したデザインを採用しました。「ID. 2all」は、この新しい C ピラー シグネチャーを備えた最初のフォルクスワーゲンです。アンドレアス ミント:「C ピラーはフォルクスワーゲン デザインの背骨としての役割を果たしています。ID. 2all では、この特徴的な C ピラーの安定感が背骨からサイドボディ エレメントへと流れていきます。」



Media Information

C ピラーはサイドシルエットの輪郭に溶け込み、7 代目「Golf」などで示されたように、まったく新しく、しかし典型的なフォルクスワーゲン デザインを形成しています。このデザインは、意図的にショルダーラインを排除することで、車両のサイドボディ全体に力強いボリューム感と際立った個性的な外観を与えています。

2 番目の安定化要素は、A ピラーと C ピラー間を完全な直線で結ぶサイドラインです。アンドレアス ミント:「ウィンドー ショルダー、その下のフィーチャーライン、そしてサイドシルは、フロントエンドと共にポジティブな緊張感を生み出す必要があります。それは、まさに ID. 2all で実現しています。」

この直線的なウィンドーラインは、何十年にもわたってフォルクスワーゲン モデルの特徴的なスタイル要素となってきました。

3 つ目の要素は、デザイナー用語でスタンスと呼ばれるもの、つまり視覚的な安定感です。アンドレアス ミント:「車両のスタンスが安定して見えるように、ホイールから上の部分のボリュームを減らす必要があります。「ID. 2all」を見ていただければ、ご理解いただけるでしょう。」その力強いスタンスは、ハンドルを切って、フロントタイヤが斜めを向いたときに、特に好印象を与えます。「ID. 2all」の場合、安定感とは、力強くサイドに流れ込む C ピラー、サイドシルエットの緊張感、自信に満ちたスタンスの相互作用によって生み出されています。

Likeability (好感度): 自動車デザインは芸術とも言えますが、そこには、黄金比をはじめとする明確な法則が存在します。アンドレアス ミント:「好感度は黄金比でつくられます。これはごく単純に、5 分の 3 と 5 分の 2 の比率です。」レオナルド ダ ヴィンチは、モナリザなどの作品で、すでにこの幾何学的原理を採用しています。ミントは次のように続けています:「ウィンドー ショルダーの下を走るフィーチャーラインは、ID. 2all の黄金比の線上に正確に位置しています。Beetle も Golf も、常に黄金比の原則に従っていました。」人は、自然が作り出したこの黄金比による分割を、心地よく好感が持てると感じます。

好感度を左右する 2 つ目の決め手は、フロントエンドのデザインです。アンドレアス ミント:「ID. 2all のフロントは、上に向かって盛り上がっているのが特徴です。これらの要素を注意深く採用することで、自信に溢れた笑顔が生まれます。」好感度の 3 番目の要素、つまり人間性も、このフロントエンドに完全に表現されています。アンドレアス ミント:「フォルクスワーゲンのフロントが、まるで人間のような表情を見せることは、私たちにとって重要です。まさに、ID. 2all のように。」

Excitement (感動): 感動を呼び起こす最初の要素はダイナミクスです。「ID. 2all」は、よりスポーティなバリエーションも容易に導入できるようにデザインされています。これは、このクルマにダイナミックなキャラクターが本質的に備わっていることを意味しています。高品質は、感動を呼び起こす 2 番目のデザイン要素です。デザイン責任者のミントは、次のように例を挙げています:「このコンセプトカーのインテリアには、高品質な素材で作られ、正確な操作を可能にするドライビングモード セレクタースイッチが配置されています。これは、この価格クラスの車両には通常装備されていない機能です。」3 番目の要素はエレガンスです。これは、フォルクスワーゲンのデザインを、時代を超越するものにして、その価値を維持する重要なスタイル要素です。「ID. 2all」は、ボンネットと、このコンセプトカーの全長を、より長く見せる直線的で自信に溢れたシルエットの相互作用によって、エレガンスを表現しています。



Media Information

「ID. 2ALL」の技術コンセプト

MEB Entry – 進化したモジュラー エレクトリック ドライブ (MEB) プラットフォーム

「ID. 2all」は、進化したモジュラー エレクトリック ドライブ (MEB) プラットフォームをベースにして設計されました。カイ グリュニーツ:「MEB の柔軟性はお客様に大きなメリットをもたらし、そのスケールメリットにより、より上位のセグメントのテクノロジーを、ID. 2all に低コストで導入することが可能になります。すべてのお客様が、この恩恵を受けるでしょう。」

最先端のシステムを搭載した「ID. 2all」 - 部分的な自動運転を可能にするトラベルアシストを装備

フォルクスワーゲンは、「ID. 2all」の量産モデルに、より上位の「ID.」モデルに搭載されている数多くの最先端テクノロジーを組み込むことを計画しています。これには、部分的な自動運転を可能にするトラベルアシストの最新モデルも含まれます。「ID. 2all」に導入されるその他の機能には、LED マトリクス ヘッドライト「IQ.LIGHT」、水平な LED ストリップでつながれた左右の 3D LED テールライトクラスター、メモリー機能付き Park Assist Plus、ID.Light (ドライバー向けの直感的なライトシグナル)、マッサージ機能付き電動シートなどが挙げられます。大型のパノラミック サンルーフは、インテリアに広々とした開放感をもたらします。

日常走行に完璧に対応 – 直感的な操作系

「ID. 2all」コンセプトカーは、クリアなインテリアデザインと、直感的な操作系を特徴としています。インフォテインメント システムのタッチディスプレイ (対角:32.7cm / 12.9 インチ) は、新しいメニュー構造を備えています。その下には、新開発された左右独立式の空調コントロールパネルが設置されています。ここでは、照明付きのボタンを使用して、主要な空調機能を操作することができます。運転席と助手席の両方から簡単にアクセスできるエアコンディショナー操作パネルの中央には、インフォテインメント システムの音量を調整するための、実用的で小さなロータリーコントロールがあります。さらにその下には、スマートフォン用の 2 つの大型ワイヤレス充電インターフェースが設置されています。スマートフォンは、磁石で所定の位置に固定されます。その他の機能は、センターコンソールのメニューコントロールを使用して操作します。このメニューコントロールを使用して、デジタルメーターのグラフィックを変更することもできます。新しいマルチファンクション ステアリングホイールは、明確でわかりやすいように設計されています。左右に 2 つのロータリーコントロールと、それぞれに 2 つのボタンのみで構成されています。このコンセプトカーのドライバーは、デジタルコックピット (27.7cm / 10.9 インチ) とヘッドアップ ディスプレイによって、すべての重要な情報を同一視線上で確認することができます。スマートフォンには、車内のさまざまな場所に設置された USB-C ポート (45 ワット) と、フロントシートのバックレストに設置され、ワイヤレス充電機能を備えたマグネット ホルダーを使用して充電することができます。車内で使用することが考えられるすべての大型デバイス用に、230V 電源ソケットも用意されています。

さらに、このコンセプトカーのインテリアは、最大限のスペース効率を追求しています。その一例としては、折り畳み式の助手席シートバックが挙げられます。これにより、40:60 の比率で折り畳むことができるリアシートバックレストと組み合わせると、長さ 2.2 メートルの長尺物を積載することが可能になります。ラゲッジコンパートメントは、440ℓ の大容量を誇り



Media Information

ます。ラゲッジコンパートメントは 2 重構造になっており、そのハイライトは、例えばスーパーマーケットからの買い物袋を数個収納できる、フロア下の長方形の収納ボックスです。リアシートの下には 50 リットルの収納スペースが設置されています。シートクッションは、簡単に跳ね上げることができます。この収納スペースは、バッテリー充電ケーブル、救急セット、蛍光色のジャケット、故障時の工具セットなどのアイテムを収納できるように、特別に設計されています。さらに、このロック可能な(安全な)コンパートメントには、ノートパソコンやタブレットなどの大型デバイスを収納可能なスペースがあり、そこで充電することもできます。リアシートを倒すと、ラゲッジコンパートメントの容量は 1,330ℓ に拡大します。

20 分以内にバッテリーを 80%まで充電

「ID. 2all」は、MEB Entry プラットフォームにより、非常に効率的な駆動システム、バッテリー、充電テクノロジーを備えています。フロント アクスルには、166kW/226PS を発生するパワフルな電気モーターが搭載され、0~100km/h を 7 秒未満で加速することができます。WLTP モードによる航続距離は、最大 450km です。DC(直流)急速充電ステーションでは、20 分でバッテリー容量の 10~80%を充電することができます。このバッテリーは、自宅のウォールボックスまたは公共 AC(交流)充電ステーションを使用した場合、最大 11kW で充電することができます。カイ グリューニッツは、次のように強調しています:「ID. 2all の量産モデルは、年間を通して毎日使える電気自動車です。十分なスペースと長い航続距離を備えた典型的なフォルクスワーゲンで、ロングドライブでも問題なく目的地に到達することができます。高い柔軟性を備えた MEB プラットフォームにより、フォルクスワーゲンのお客様は、約 2 万 5,000 ユーロの価格帯で、最先端のテクノロジーの恩恵を受けることもできます。フォルクスワーゲンは、ふたたび先進機能を民主化します。そして、それはまさに私たちの目標でもあります。」

¹ ID. 2all - the vehicle is a concept vehicle and is not available for sale.

ID. 2all: テクニカルデータ	
プラットフォーム	MEB Entry (前輪駆動)
出力	166 kW / 226 PS
一充電走行距離	約 450 km (WLTP)
急速充電時間	10~80% 約 20 分
0-100 km/h 加速	7 秒未満
最高速度	160 km/h
全長	4,050 mm
全幅	1,812 mm
全高	1,530 mm
ホイールベース	2,600 mm
荷室容量	490~1,330 ℓ
タイヤサイズ	225/40 R20